

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道101号 鱒ヶ沢道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：青森県つがる市木造越水 至：青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字舞戸町	延長	3.7 km		
事業概要					
<p>津軽自動車道は、青森県青森市浪岡～青森県西津軽郡鱒ヶ沢町に至る延長約40kmの一般国道の自動車専用道路である。</p> <p>鱒ヶ沢道路は、津軽自動車道の一部を形成し、一般国道101号の線形隘路を解消するとともに、自然災害発生時において緊急輸送道路を確保し、走行性の向上を図るものである。</p>					
H19年度事業化		-		H22年度用地着手	
H23年度工事着手		-		-	
全体事業費	55億円	事業進捗率	20%	供用済延長	0.0km
計画交通量	8,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 2.0 (残事業) 2.4	(残事業)/(事業全体) 50億円 / 61億円 事業費 : 38億円 / 49億円 維持管理費 : 12億円 / 12億円	(残事業)/(事業全体) 120億円 / 120億円 走行時間短縮便益 : 107億円 / 107億円 走行経費減少便益 : 9億円 / 9億円 交通事故減少便益 : 4億円 / 4億円	平成23年	
感度分析の結果					
<p>残事業について感度分析を実施</p> <p>【全体事業】 交通量変動 : B/C=1.7~2.2(交通量 ±10%) 事業費変動 : B/C=1.8~2.1(事業費 ±10%) 事業期間変動 : B/C=1.9~2.0(事業期間 ±20%)</p> <p>【残事業】 B/C=2.1~2.7(交通量 ±10%) B/C=2.2~2.6(事業費 ±10%) B/C=2.3~2.5(事業期間 ±20%)</p>					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・災害への備え (緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する) ・国土・地域ネットワークの構築 (日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる) 他11項目に該当 					
関係する地方公共団体等の意見					
<p>○青森県知事の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民が安全に、そして安心して暮らすために早期整備をお願いします。 事業の執行にあたっては、引き続き、なお一層のコスト縮減に努めて頂きますようお願いいたします。 <p>○以下の団体等から、鱒ヶ沢道路の整備促進について要望あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津軽自動車道建設促進期成同盟会（五所川原市、鱒ヶ沢町、板柳町 他2市3町） ・青森県高規格道路建設促進期成会 ・青森県道路整備促進期成同盟会 					
事業評価監視委員会の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。 					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
<ul style="list-style-type: none"> ・事業進捗率20%（うち用地進捗率16%） 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の進捗に係る問題はない。 ・平成27年度の全線供用を目指す。 					
施設の構造や工法の変更等					
<ul style="list-style-type: none"> ・一部盛土材を購入土から他公共事業との調整により、発生土を受け入れることで、コスト縮減を図る。 					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。